

クリーンエクイティ・モナコ 2012 - 新企業および講演者発表

イノベーターキャピタルとノーベル賞・サステナビリティ・トラストが3月29日と30日に主催する新興クリーン企業のための世界フォーラム、クリーンエクイティ・モナコは、シャヌー S P ヒンデュジャ女史が会長である、ヒンデュジャ財団とのご協同事業をここに発表致します。

ヒンデュジャ・グループ、およびモナコ財団のアルバート王子の創設メンバーの一員であるヒンデュジャ財団の目標とするものは、自分より恵まれない人々に奉仕するという元来の創始者の理念とコミットメントに組み込まれています。この理念は単純なものです。すなわち、「私のダルマ(義務)は、他人に与えることができるように自分が働くということです。」当財団は、医療、教育、環境、社会福祉、芸術、文化の促進と向上に力を注いできました。

クリーンエクイティモナコはまた、最高経営責任者、理事、および他の幹部指導者を中心とした大手人材サーチ会社である、クラーク・ラングドン・パートナーズ社の協力を歓迎します。クラークラングドン・パートナーズの最高経営責任者および創業者であるサイモン・クラーク氏は、「クリーンテック企業なら最高のCEOの人材を誘致することができます。たとえ十分な資金があるとしても、新興産業がこのような強力な指導者を雇用できるのは極めて稀なことです。なぜなら、人材こそ稀な産物だからです。」コメントしています。

また、以下講演者の参加が決定したことをお伝えします。

アンドリュウ・ギルバート氏。クアルコム社のヨーロッパ技術革新開発の上級副社長であり、2002年5月から2006年1月までは、フラリオン・テクノロジーズ社の欧州、中東、アフリカ地域の副社長兼ゼネラルマネージャーを務めていました。

グスタフ・ノーベル氏。ルードヴィッヒ・ノーベル氏のひ孫で、アルフレッド・ノーベルの兄である。他の五人のノーベル氏の子孫やノーベル一家を代表し、ノーベル・サステナビリティ・トラストを設立しました。当トラストは、グローバルな認識を結晶化し、地球保護を確保しつつ社会のあらゆるメンバーが自由にエネルギーを利用できることを確保し、環境への配慮やソリューションに焦点を当てることを目指しています。ノーベルサステナビリティ・トラストは、金融、専門知識と市場のリーチを有効にする、ネットワークの最適な環境とクリーン技術の革新の提供を目指しています。

ジョージ・フランプトン氏。大手法律事務所であるコビンソン&バーリング法律事務所のシニア顧問。彼は1998年から2001年にかけて、ホワイトハウスの環境問題委員会(CEQ)の会長、また最近ではオバマ氏の政権移行チームのCEQに係る共同議長を務めました。

今年のプレゼンテーション実施企業には以下が含まれています。

名前	国	部門
カーネギーウェイブエネルギー	オーストラリア	波エネルギー
ゴレクトリック	アイルランド	風力エネルギー格納システム
パイラスエネルギー	米国	廃棄物利用エネルギー
オシアナエネルギー	米国	潮流エネルギー

連絡先

トム・ファジオナトーグリーンエクイティ会長
Innovator Capital Limited (イノベーターキャピタル株式会社)
+44 20 7297 6840



tom.faggionato@innovator-capital.com